



射水市立東明小学校 学校だより



第8号

東明っ子

令和4年7月12日

とやま環境チャレンジ10



4年生は総合的な学習の時間に「地球環境」について学習しています。6月23日（木）に富山県地球温暖化防止活動推進員の堀川均様を迎え、「とやま環境チャレンジ10」の説明を聞きました。始めに堀川先生は、「自宅が『太陽光発電所』と言われている」と話され、子供たちはずいぶん驚きました。堀川先生の自宅は屋根の上の「太陽光」で電気をつくり、お湯を沸かしているそうです。その他「雨水」をためて、トイレの流し水や花や畑の水やり、車洗いに使っているそうです。

次に、地球温暖化によって、ヒマラヤの氷河が溶けている写真や海岸が侵食されている写真を見せていただきました。異常気象も多発し、地球がたいへんピンチに直面していることが分かりました。では、私たちに何ができるのでしょうか。先生は「もったいない」を提唱し、食品ロスをしないことや電気をこまめに消すなどで、CO₂の排出を減らしていこうと訴えられました。また、自然エネルギーの活用方法も自分たちで考えていかなければならないことも話されました。4年生にはこれから、自分たちにできる活動を実践していくことを期待したいです。



国際理解教育！

6月15日（水）に、国際交流員エミリー先生を迎えて、1・2年生が国際交流活動を行いました。エミリー先生の出身国アメリカのオハイオ州の食べ物や動物について、いろいろ楽しいお話を聞きました。グローバル化の時代です。国際色豊かな子供たちに育てほしいです。



委員会活動掲示

委員会活動を全校にお知らせするために1階の中央廊下に活動の様子を掲示しました。委員会活動は学校生活の充実と向上を図るための活動です。5・6年生が中心となって、様々な工夫をして活動していることを紹介しています。



仲よく協力して新体カテスト実施



6月22日（水）～24日（金）の3日間に渡って、新体カテストを実施しました。「新体カテスト」とは、文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得ることを目的に、平成11年度より毎年実施している調査です。

1・6年、2・5年、3・4年がペアとなって、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げの6種目に取り組みました（50m走と20mシャトルランは後日測定）。どの子もよい記録を出そうと一生懸命でした。また、6年生が1年生の手を引いて移動したり、記録をカードに書いたりする姿が微笑ましかったです。

保健学習で「食事、運動、休養・睡眠」の大切さをよく理解している東明小の子供たちです。この機会にどんどん運動に取り組んで、健康な体と心が育つと嬉しいです。



立ち幅跳び



反復横跳び



ソフトボール投げ

今年も立派に咲きました！



学校の前庭にある東明池に今年も立派なスイレンの花が咲きました。

特別世話をしているわけでもないのに、毎年咲き誇ります。自然の力は偉大だと改めて感じさせてくれます。薄赤色や紫色、真っ白と色とりどりの可憐な花を見ていると、心が洗われて清々しい気分になります。



(校長 阿尾昌樹)